

2026年6月15日

各 位

会 社 名 株式会社アンサーホールディングス
(コード：2994 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 三谷 俊介
問合せ先 常務取締役総務部長 前田 啓美
(電話番号 093-953-9927)
U R L <https://answerholdings.co.jp/>

TOKYO PRO Market への上場目的の開示に関するお知らせ

当社は、株式会社東京証券取引所からの要請に基づき、TOKYO PRO Market への上場目的について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 上場の目的

当社は、2022年1月20日にTOKYO PRO Market へ上場いたしました。当社は、『街を創る 人を創る お客様の望む答え「ANSWER」を提供する』という企業スローガンのもと、事業のさらなる拡大と企業価値の向上に努めております。同市場への上場は、主に社会的知名度および信用力の向上、優秀な人材の継続的な確保および定着、さらには経営管理基盤ならびに内部統制の強化を図ることを目的としております。

あわせて、同市場においてこれらの体制整備と企業としての実績を重ねることで、将来的な一般市場へのステップアップ上場を実現するための重要な布石として位置付けております。

2. 追加的な情報開示

(1) 中長期的な成長目標・成長戦略

当社グループは、持続的な企業価値の向上を図るため、創業の地である北九州地区における総合不動産企業としての安定的な地位を経営基盤とし、さらに経済成長が著しい福岡地区への進出を成長戦略の柱と位置付けております。当社の強みは、自社ホームページにおける豊富な物件情報と、不動産売買仲介、賃貸管理、買取り再販、およびリフォームに至るまでの事業をグループ内で一手に担うワンストップ体制にあります。あわせて、2025年3月には株式会社リログroupと資本業務提携を締結いたしました。本提携を通じて、提供のお客様サービスのさらなる品質向上を図るとともに、社員の物心両面の豊かさの実現に向けて邁進しております。

これらの事業基盤を最大限に活用し、地域密着型のドミナント戦略を一層推進すること

により、積極的な新規出店を行い、営業エリアを拡大していく計画です。また、出店戦略を支える経営基盤の強化策として、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進いたします。新システムの導入による業務プロセスの簡素化やシステム運用の内製化を進めることで、業務効率化と生産性の向上を図ります。

さらに、事業拡大を牽引する人材戦略として、今後の事業規模の拡大に応じた人員体制の拡充を目指すとともに、プロフェッショナル人材の育成に注力しております。具体的には、宅地建物取引士資格の取得支援制度や資格手当の充実等を通じて、専門性の高い優秀な人材の継続的な確保と定着を図ってまいります。これら営業エリアの拡張、DX 推進、および組織基盤の強化を三位一体で推し進めることで、業績面におきましては売上高 40 億円を安定的に創出する高収益体質へと転換し、将来的なステップアップ上場に向けた企業価値の最大化に努めてまいります。

（2）一般市場への上場目標時期とスケジュール

当社グループは前述のとおり、中長期的な売上高 40 億円の数値目標の達成を見据え、2030 年 6 月期までをターゲットとした一般市場への上場を目標として定めております。

本目標に向けたスケジュールにつきましては、TOKYO PRO Market への上場を通じて既に構築しつつある経営管理体制をベースに、今後さらに高度なコーポレート・ガバナンス体制の整備および内部統制の強化を段階的に進めてまいります。（1）に掲げる成長戦略の実行により事業規模を拡大させつつ、これらの上場準備プロセスを並行して着実に遂行し、業績目標の達成と軌を一にする形で、2030 年 6 月期までの上場実現に向けた準備を全社一丸となって推進する計画です。

（3）上場予定市場

当社の一般市場へのステップアップ上場先につきましては、当面は福岡証券取引所への上場を予定しております。

当社は創業の地である北九州地区を強固な事業基盤としつつ、今後は福岡地区へのさらなる店舗展開を中核的な成長戦略に据えております。そのため、事業を通じて地域経済の発展や社会貢献を果たしていくという当社の姿勢において、地元の証券取引所である福岡証券取引所への上場は最適な選択であると考えております。

特に、お客様の大切な資産である不動産を取り扱う総合企業として、地元市場での上場を通じた透明性および健全性の高い経営体制の構築は、すべてのステークホルダーの皆様からの信頼獲得に不可欠であると考えております。同市場への上場を通じて、地元エリアにおける高い知名度および信用力を獲得することは、総合不動産事業におけるお客様との信頼関係強化や優秀な人材の確保に直結し、ひいては地域社会へのさらなる貢献へとつながるものと確信しております。

これらの理由から、当社の持続的な成長と企業価値向上、ならびに地域社会への貢献に寄与する市場として、まずは福岡証券取引所への上場を目標として推進するとともに、将

来的にはさらなるステップアップ上場も視野に入れ、企業価値の最大化に邁進してまいります。

3. 上場目的の実現状況

2022年1月のTOKYO PRO Market 上場以降、当社が掲げた上場目的の実現状況は以下のとおり、着実に進捗しております。

(1) 社会的知名度および信用力の向上

上場企業としての社会的知名度および信用力の向上により、業績の拡大、資金調達力の強化、ならびに強力なパートナーシップの構築において成果が得られております。

業績面におきましては、上場以降、売上高は每期着実な右肩上がりの成長を続けており、今期におきましてもさらなる増収を見込む水準へと順調に拡大しております。また、地元の主要な金融機関からの融資枠が大幅に拡大したことで、機動的な投資活動が可能となり、上場以降すでに3件の大型自社物件の竣工を果たすなど、開発投資事業の進展に大きく寄与しております。

さらに、これら上場企業としての信用基盤が原動力となり、国内大手の不動産グループである株式会社リログroupとの資本業務提携の締結へと至りました。本提携は、市場および取引先からの当社の社会的評価を高める象徴的な成果であり、今後の持続的な事業拡大に向けた成長基盤が構築されたものと確信しております。

(2) 優秀な人材の継続的な確保および定着

上場企業としてのブランド力および知名度の向上により、採用競争力の強化と人材の定着化において大きな成果が表れております。

新卒採用におきましては、従来の九州地区にとどまらず、全国の広範な地域からの優秀な学生の応募および採用へと繋がっており、採用活動の広域化を実現いたしました。また、上場による社員の帰属意識の向上やモチベーションの喚起等が寄与し、ここ数年における離職率は改善傾向を示しており、組織基盤の構築が進展しております。

さらに、今後の一般市場へのステップアップ上場を見据え、財務部門や経営企画部門をはじめとする高度専門人材の獲得にも相次いで成功しております。これらの人材強化により、中長期的な事業拡大を支える人員体制の拡充に向け、その基盤は着実に整いつつあります。

(3) 経営管理基盤ならびに内部統制の強化

当社は、TOKYO PRO Market 上場以前より培ってきた透明性の高い取締役会運営等のガバナンス体制を維持しつつ、将来的な一般市場へのステップアップ上場を見据え、現在、管理体制のさらなる高度化に向けた全社的な取り組みを推進しております。

具体的には、ここ数年におけるDXの推進により、クラウド型統合ワークスペースの導入を通じた社内コミュニケーションの迅速化や、データ管理のクラウド化を実現いたしました。あわせて、システム連携の自動化や業務アプリケーションの内製化、ならびに最新の生成AIを活用した業務効率化を推進し、強固なセキュリティ環境のもとで生産性を飛躍的に向上させております。さらに、本年1月には新たな基幹システムを導入し、現在全社を挙げて業務フローの最適化を進めており、これらの定着により内部統制の要となる強固なDX基盤が確立される見込みです。

また、決算体制におきましては、上場企業として既に構築している適正な開示体制を基盤としつつ、監査法人との連携により高い正確性を担保したうえで、月次決算業務のさらなる早期化に向けた取り組みを始動し、より迅速かつ適時適切な情報開示体制の強化を図っております。

以 上